

平成21年度 富士見町のバランスシート

バランスシート(貸借対照表)の公表

企業会計的手法を用いて町の「資産」「負債」など財政の状況について、一般の皆さんにもわかりやすく明らかにするとともに、効率的な行財政運営を進めるための資料として活用するものです。

◇総務省「作成マニュアル」により作成してあります。(現在、地方公会計改革が進められていますが、町では平成21年度のバランスシートについては従来の方法で作成しています。)

◇数値は昭和44年以降の「決算統計」のデータを基礎としています。

◇対象は普通会計(一般会計と有線放送電話特別会計)で、水道会計、下水道会計、土地開発公社等は含まれません。

◇有形固定資産の評価は「決算統計」における普通建設事業費の数値をもって有形固定資産の取得原価としています。土地を除く資産については所要の耐用年数を用いて、定額法により減価償却しています。

普通会計バランスシート

		平成22年3月31日現在		
		借方	貸方	
資産の状況	【資産の部】		【負債の部】	
町の有する資産は、301億864万円(対前年比△3.3%)で、前年より10億3,543万円減少しています。これは、有形固定資産が前年より8億413万円減少したことなどが主な理由です。有形固定資産の構成は、道路・橋梁・住宅等の土木費が31.2%、小中学校建設等の教育費が29.4%、農業基盤整備等の農林水産費が10.6%などとなっています。以下、商工費10.2%、総務費8.2%、民生費5.8%と続きます。	1.有形固定資産		1.固定負債	
	土木費	80億 97万円	地方債	46億7,505万円
	教育費	75億3,143万円	債務負担行為	—
	農林水産業費	27億 761万円	退職給与引当金	16億9,862万円
	※行政目的別上位抜粋		固定負債計	63億7,367万円
	有形固定資産計	256億5,154万円		
	2.投資		2.流動負債	
	投資及び出資金	2億3,640万円	翌年度償還予定額	5億 88万円
	貸付金	10億7,000万円	翌年繰上充当金	—
	基金	15億3,952万円	流動負債合計	5億 88万円
	退職手当組合積立金	△1,140万円	負債合計	68億7,455万円
	投資等計	28億3,452万円		
			【正味資産の部】	
	3.流動資産		1.国庫支出金	13億2,734万円
現金・貯金	15億3,764万円	2.都道府県支出金	8億6,579万円	
未収金	8,494万円	3.一般財源	210億4,096万円	
流動資産合計	16億2,258万円	正味資産合計	232億3,409万円	
資産合計	301億 864万円	負債・正味資産合計	301億 864万円	

負債の状況

負債の総額は、68億7,455万円(対前年比△2.8%)で前年より2億50万円減少しています。これは、負債総額の75.3%を占める地方債の返済が順調に進んでいるためです。残高の合計は51億7,593万円(対前年比△2.6%)となりました。地方債は、長い年月をかけて返済しますが、返済額の一部に相当する額は毎年地方交付税として交付されています。

正味資産の状況

正味資産は、232億3,409万円(対前年比△3.5%)で前年より8億3,492万円減少しています。

バランスシートから見えること

○流動比率(流動資産÷流動負債×100) = 323.9%(前年対比△199.5%)

支払能力を示す代表的な指標で、企業では200%以上が理想とされる。

パノラマスキー場再建のため(社)富士見町開発公社への貸付金支出により前年度比が低下しました。

○固定比率(固定資産÷正味資産×100) = 122.6%(前年対比+4.0%)

固定資産に投下した資金がどの程度自己資金で賄われたかを示す指標で、100%がひとつの目安となります。

100%を超えていれば固定資産への投資が一部地方債等で賄われていることを意味します。

○負債比率(負債÷正味資産×100) = 29.6%(前年対比+0.2%)

借入依存度を見る指標で、小さければ小さいほど地方債等への依存度が低いこととなります。